

ヒコちゃんに叱られる(適時連載6)

「微分・積分」の巻



【企画】COSテレビ

【出演】ヒコちゃん(ひねた女の子)

A作・B子(ともに歌人)

甘木先生(安房大学教授)

ヒコちゃん 近ごろ短歌で「空を翔^かけてゆく」という言い方を見かけるけど、これおかしんじゃない、ねえA作？

A作 おかしくないですよ。

B子 正しいのは「空を翔^かりゆく」だと思っわ。

A作 どっちでもいいんじゃないの。

ヒコちゃん なにっ、「どっちでもいい」だって？ ポーツと生きてるんじゃないよ！

甘木先生 ちょっとややこしいんですが、空を飛ぶ意味の「翔^かる」と、地上を走る意味の「駆ける」と、よく似た動詞が二つあるんですね。

B子 どちらもカケルですよ。

ヒコちゃん でも活用の仕方が違うんですよ。

甘木先生 そう、ヒコちゃんは小さいのによく知ってますね。「翔る」は四段活

用で、「駆ける」は下二段活用の動詞です。

A作 ややこしくて、よく分からない。

甘木先生 例えば分かりますか「散る」という動詞を活用してみましよう。簡単

ですよ。「散らズ、散りテ、散る、散る

トキ、散れば、散れ」ですね。「ら、り、

る、れ、れ」というふうに行の四

段で活用しています。

B子 すると、「翔る」の活用は、「翔ら

ズ、翔りテ、翔る、翔るトキ、翔れば、

翔れ」ですね。

甘木先生 その通りです。連用形は「翔^か

りテ」でしょう。決して「翔^かけテ」では

ありません。

A作 じゃあ、「駆ける」の活用は？

甘木先生 口語で活用すると、「駆ける」

は、「駆けズ、駆けテ、駆ける、駆ける

トキ、駆ければ、駆けヨ」となるんです

ね。文語で活用すると、「駆けズ、駆け

テ、駆く、駆くるトキ、駆くれバ、駆け

ヨ」となります。どちらにしても連用形は「駆けテ」ですね。

ヒコちゃん なるほど、「翔る」と「駆

ける」を混同してはいけない。

甘木先生 万葉の4011番の長歌の中

に「翔^かり去にき」というフレーズがあ

ります。原文は「可氣理伊爾伎等」です。

明らかに「翔る」の連用形は「かけり」

であって、「かけて」ではありません。

A作 うわあ難しいなあ。ヒコちゃん、

僕にとつて動詞の活用は、まるで微分・

積分だね。

ヒコちゃん 微分・積分って何それ？

A作 微分は「微かに分かった」、積分

は「分かった積もり」だよ。

甘木先生 あはは、きょうは最後にA作

くんによられましたね。

(イラスト：水上比呂美)